令和5年度　第２学年　社会科　年間指導計画

【知】知識・技能【思】思考・判断・表現【態】主体的に学習に取り組む態度）　　【コ】コミュニケーション力【主】主体性

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
【地理的分野】 第3部　日本のさまざまな地域							
	第2章　日本の地域的特色 **■章の問い■**　日本の自然環境や人口，産業には，どのような特色があるのだろうか。 **(13時間)**		**＜第3部第2章のねらい＞** 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ，分布や地域などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取組などを基に，日本の自然環境に関する特色を理解させる。 ①少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の人口に関する特色を理解させる。 ①日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。 ①国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。 ①「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ，我が国の国土の特色を大観し理解させる。 ①日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けさせる。 ②「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現させる。 ②日本の地域的特色を，「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して，それらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		**＜第3部第2章の評価規準＞** ①日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取組などを基に，日本の自然環境に関する特色を理解している。 ①少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の人口に関する特色を理解している。 ①日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ①国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ①「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ，我が国の国土の特色を大観し理解している。 ①日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けている。 ②「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ②日本の地域的特色を，「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して，それらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。 ③日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
4	**1　山がちな日本の地形** 日本の国土には，どのような地形的な特色があるのだろうか。	1	日本の山地や造山帯の特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	地図を活用して，世界の火山の分布を適切に読み取り、我が国が山がちな国土となっていることを理解している。 ②世界や日本の産地の分布を基にして、我が国の地形的な特色を多面的・多角的に考察させる。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
4	**2　川がつくる地形と海岸や海洋の特色** 日本の平野や海岸，日本を取り巻く海には，どのような特色があるのだろうか。	1	日本の川と平野との関係や特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①資料から世界と日本の川や平野の違いを比較しながらそれぞれの特色を読み取り、日本の川や平野の地形的な特色を理解している。 ②日本の川や平野の特色を，世界の川や平野の特色と比較して多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
4	**3　日本の気候** 日本各地の気候を比較すると，地域によってどのような違いがあるのだろうか。	1	日本の気候の特色や地域による違いを理解する。	【知】 【思】 【態】	①雨温図から日本の六つの気候の違いを適切に読み取り、日本の六つの気候の特色を理解している。 ②太平洋側と日本海側で降水量の多い時期が異なる理由を，季節風や地形と関連付けて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
4	**4　日本のさまざまな自然災害** 日本で発生する自然災害は，地形や気候とどのような関係があるのだろうか。	1	日本で発生する自然災害の特色を理解し，地形や気候など自然環境との関連や課題を考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，日本の災害の分布を適切に読み取り、日本で発生する自然災害の特色や課題を理解している。 ②さまざまな自然災害が起こる理由を地形や気候など自然環境と関連付けて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
4	**5　自然災害に対する備え** 国や地域は，自然災害を防いだり，被害を少なくしたりするために，どのような工夫をしているのだろうか。	1	日本で取り組まれている防災や減災の取り組みを理解し，自然災害に対する備えを考える。	【知】 【思】 【態】	①ハザードマップを活用し，自然災害の情報を適切に読み取り、日本で取り組まれている防災や減災の取り組みの特色を理解している。 ②日本で取り組まれている防災や減災の取り組みをもとに，自然災害に対する備えを多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
4	**6　日本の人口** 日本の人口分布や人口構成は，どのように変化してきたのだろうか。	1	日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を理解し，人々の生活に及ぼす影響を考える。	【知】 【思】 【態】	①分布図や人口ピラミッドを活用して，日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を適切に読み取り、日本の人口分布や年齢別人口構成の特色や課題を理解している。 ②日本が少子高齢社会になったことが人々の生活に及ぼす影響について多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
4	**7　日本の資源･エネルギーと電力** 日本では，資源を有効に活用するために，どのような取り組みが行われているのだろうか。	1	日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，東日本大震災での原子力発電所の事故以来，変化してきている日本の資源やエネルギーに関する考え方を適切に読み取り、日本の資源・エネルギーと電力の現状や課題を理解している。 ②日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**8　日本の農業･林業･漁業とその変化** 日本の農業･林業･漁業には，どのような特色や課題があるだろうか。	1	日本の農業・林業・漁業の特色や課題，変化を理解する。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から日本の農業地域の分布や各地方の農業生産の特色や課題を適切に読み取り日本の農業・林業・漁業の特色を理解している。 ②海外との競争や従事者の高齢化や後継者不足などの課題解決を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**9　日本の工業とその変化** 日本の工業にはどのような特色があり，工場の立地はどのように変化してきたのだろうか。	1	日本の工業地域の分布や工業出荷額をもとに，日本の工業の特色と変化、課題を理解する。	【知】 【思】 【態】	①工業出荷額の内訳を示す統計資料から日本のおもな工業地帯・工業地域の特色を適切に読み取り、日本の工業の変化や課題を理解している。 ②日本の工場の立地が変化する理由や日本の企業が海外に進出する理由を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**10　日本の商業･サービス業** 日本の産業の中心である商業やサービス業には，どのような特色や変化がみられるのだろうか。	1	日本の商業・サービス業の現状と課題を理解する。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，商業やサービス業での成長分野を適切に読み取り、日本の商業・サービス業の現状と課題を理解している。 ②テレビやインターネットを利用した無店舗販売や情報通信技術（ICT）関連産業が急速に拡大しすることによっておこる社会の変化や影響について多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**11　日本の交通網･通信網** 交通網や通信網が発達したことで，日本と世界や国内の地域間の結びつきはどのように変化したのだろうか。	1	交通網や通信網が発達することによっておこった，世界や日本の地域間の結びつきの変化を理解する。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，交通網や通信網が発達することによっておこった，世界や日本の地域間の結びつきの変化を適切に読み取り、世界や日本の地域間の結びつきの変化や特色を理解している。 ②世界や日本の地域間の結びつきが強まったことによる利点や問題点をそれぞれ多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**12　さまざまな地域区分** 日本をいくつかの地域に区分する場合，どのような分け方ができるのだろうか。	1	日本を区分するさまざまな視点を知り，さまざまな地域区分があることを理解する。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな地域区分を分類し，表などに整理し、さまざまな地域区分の仕方や目的について理解している。 ②７地方区分以外の地域区分がある理由を，区分の目的や基準などから多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	章の学習を振り返ろう **■章の問い■**　日本の自然環境や人口，産業には，どのような特色があるのだろうか。	1	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」など日本の地域的特色の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	【知】 【思】 【態】	①分布や地域などに着目して、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」など日本の地域的特色を整理している。 ②第１章の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、系統的に見た日本の地域的特色や課題、これからの日本の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
第3章　日本の諸地域			**＜第3部第3章のねらい＞** 下の(1)から(5)までの考察の仕方を基にして，空間的相互依存作用や地域などに着目して，主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 (1)自然環境を中核とした考察の仕方 (2)人口や都市・村落を中核とした考察の仕方 (3)産業を中核とした考察の仕方 (4)交通や通信を中核とした考察の仕方 (5)その他の事象を中核とした考察の仕方 ①幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について，その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ①上の(1)から(5)までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解させる。 ②日本の諸地域において，それぞれ左の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③日本の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		**＜第3部第3章の評価規準＞** ①幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について，その地域的特色や地域の課題を理解している。 ①左の(1)から(5)までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と，それに関連する他の事象や，そこで生ずる課題を理解している。 ②日本の諸地域において，それぞれ左の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し，表現すること。 ③日本の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
第1節　九州地方 **■節の問い■**　九州地方の自然環境は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。 （6時間）			**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、九州地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や資料から，九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業，自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や，人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解している。 ②自然環境に注目しながら，九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察している。 ③九州地方の自然環境と生活，産業との関係について関心をもち，九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**1　九州地方の自然環境** 九州地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	1	九州地方を概観し，自然や人々の生活の特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①地図や雨温図などから，自然環境を視点とした九州地方の特色を大まかに読み取り、九州地方の都道府県や地形の位置と名称を理解している。 ②温暖な気候や火山が多い地形，アジアに近いという位置の特色から，九州地方の人々の生活を大まかに考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**2　火山と共にある九州の人々の生活** 火山は人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	1	火山の恵みと被害の両面を理解し，その利点の生かし方や防災への取り組みを考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から九州地方における火山の恵みや被害の実態について適切に読み取り、九州地方の自然環境を生かした産業や，災害，防災への取り組みなどを理解している。 ②火山のめぐみや被害の実態をもとに，九州地方の人々の生活向上について多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**3　自然を生かした九州地方の農業** 火山活動の影響を受けた土地や温暖な気候を生かして，九州地方ではどのような農業が行われているのだろうか。	1	温暖な気候や火山活動の影響を受けた土地を生かした農業の実態をとらえ，その特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から九州地方の自然環境と農業との関連について適切に読み取り、九州南部の畜産やシラス台地での畑作，北部での稲作の実態を理解している。 ②温暖な気候や火山との関連などの自然環境を生かした農業の特色について，多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**4　都市や産業の発展と自然環境** アジアの国々に近いということが，都市や地域の産業の発展にどのような影響を与えているのだろうか。	1	アジアに近いという特色を生かして発展してきた都市や工業の歴史をとらえ，その特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①地図やその他の資料からアジアに近いことで都市や工業が発達してきた実態を適切に読み取り、アジアに近いという立地から原燃料が調達しやすいことで発達した九州の工業について理解している。 ②アジアに近いという自然環境を生かした都市の発達や工業の特色について，多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	**5　南西諸島の自然環境と人々の生活や産業** 南西諸島の自然環境は，人々の生活・文化や歴史，産業とどのように関わっているのだろうか。	1	温暖な気候やアジアとの交流の歴史などに着目しながら，特色のある南西諸島での人々の暮らしについて理解する。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料からアジアに近いという位置と独自の文化や生活の発展との関連を適切に読み取り、アジアとの交流の歴史や軍事基地のある地域での生活について理解している。 ②世界やアジアにおける南西諸島の位置や歴史が独特の文化や生活をつくりだしていることについて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
5	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　九州地方の自然環境は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	1	九州地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	【知】 【思】 【態】	①九州地方の自然環境や社会環境に着目して、九州地方の地域的特色を整理している。 ②第１節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、九州地方の地域的特色や九州地方の課題、これからの九州地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
第2節　中国･四国地方 **■節の問い■**　中国･四国地方における交通網や通信網の整備は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。 （6時間）			**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中国・四国地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や資料から，中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。 ②他地域との結びつきや産業の変容を，人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察している。 ③中国・四国地方の歴史や地形，他地域との結びつきに関心をもち，それを主体的に追究している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	**1　中国･四国地方の自然環境** 中国･四国地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	1	中国・四国地方を概観し，自然や人々の生活の特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①雨温図を活用して，山陰，瀬戸内，南四国の気候の特色を適切に読み取り、中国・四国地方の地形や気候の特色を理解している。 ②瀬戸内が温暖で降水量が少ない理由を地形の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
6	**2　交通網の整備と人々の生活の変化** 本州四国連絡橋や高速道路の開通は，人々の生活をどのように変化させたのだろうか。	1	本州四国連絡橋や高速道路の整備による地域の人々の生活の変化について考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料を活用して交通網の整備によって他地域と結びついたことによる地域の変化を適切に読み取り、本州四国連絡橋や高速道路の整備による地域の人々の生活の変化を理解している。 ②交通網の整備によって他地域と結びついたことによる利点や問題点を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	**3　瀬戸内海の海運と工業の発展** 瀬戸内海に面した地域では，船を使った輸送を利用して，どのように工業を発展させてきたのだろうか。	1	海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色について考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色を適切に読み取り、海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色を理解している。 ②海外とつながることによる瀬戸内地域の工業の利点や課題を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	**4　交通網を生かして発展する農業** 瀬戸内や南四国で生産される農産物は，どのようにして競争力を高め，市場を広げてきたのだろうか。	1	他地域との結びつきを生かして全国展開を進めている瀬戸内や南四国の農業の特色について考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざなな資料から，他地域との結びつきを生かして全国展開を進めている瀬戸内や南四国の農業の実態を適切に読み取り、瀬戸内や南四国の農業の特色を理解している。 ②海外や他地域との競争が激しくなる中で行われる地域の努力や工夫を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	**5　人々を呼び寄せる地域の取り組み** 過疎化や高齢化が進むなかで，交通網が整備されたことにより，地域にどのような変化が生じたのだろうか。	1	過疎化が進む山陰地域の，交通網の整備による変化について考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から山陰地域のさまざまな地域おこしの実態を適切に読み取り、山陰地域で行われている観光を中心とした取り組みを理解している。 ②過疎化が進む山陰地域の持続発展について，交通網の整備と観光業を中心に多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　中国･四国地方における交通網や通信網の整備は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	1	中国・四国地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	【知】 【思】 【態】	①中国・四国地方の自然環境や社会環境に着目して、中国・四国地方の地域的特色を整理している。 ②第２節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、中国・四国地方の地域的特色や中国・四国地方の課題、これからの中国・四国地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
第3節　近畿地方 **■節の問い■**　近畿地方における自然環境や歴史的景観の保全は，人口の増加や産業の発展のなかで，どのように取り組まれてきたのだろうか。 （6時間）			**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、近畿地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や資料から，近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から，近畿地方の地域的特色を理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら，そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について，原因と対策，目的の面から多面的・多角的に考察している。 ③自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心をもち，自然環境や人々の生活，産業などと関連させながら，主体的に追究している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	**1　近畿地方の自然環境** 近畿地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	1	近畿地方を概観し，自然環境や人々の生活の特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①地図や雨温図から近畿地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、近畿地方の地形や気候の特色を理解している。 ②南部，中央部，北部の特色を地形や気候の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	**2　琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏** 京阪神大都市圏の水源である琵琶湖とその周辺では，環境保全のために，どのような取り組みが行われてきたのだろうか。	1	京阪神大都市圏の水源である琵琶湖の環境保全の重要性について考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から琵琶湖の水質汚濁の状況や環境保全の取り組みなどを適切に読み取り、京阪神大都市圏の生活を支える水源としての琵琶湖の重要性について理解している。 ②琵琶湖の水質汚濁に対する原因や影響、対策などについて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
6	**3　阪神工業地帯と環境問題への取り組み** 阪神工業地帯では，工業の発展と共に生じた環境問題に対して，どのように取り組んできたのだろうか。	1	阪神工業地帯の現状や課題を追究し，環境保全の取り組みについて考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から阪神工業地帯の現状や課題を適切に読み取り、阪神工業地帯の環境問題や環境保全の取り組みを理解している。 ②大企業や中小企業に関する環境保全んみついての課題やその解決を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	**4　古都京都・奈良と歴史的景観の保全** 京都と奈良では，歴史的景観を保全していくために，どのような取り組みが行われているのだろうか。	1	京都や奈良の町なみの変化や歴史的景観を守る取り組みについて考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな景観写真から歴史的景観を守るための工夫や努力を適切に読み取り、京都や奈良の歴史的景観を守るさまざまな取り組みを理解している。 ②地域で生活する人々の利便性を守りながら歴史と伝統を守るという地域の持続発展について多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	**5　環境に配慮した林業と漁業** 近畿地方で行われている林業・漁業では，観光を保全するために，どのような取り組みを行っているのだろうか。	1	近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みについて考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から林業や漁業がかかえる現状と課題を適切に読み取り、近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みを理解している。 ②林業や漁業と環境保全との関連や持続発展に向けての取り組みについて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
6	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　近畿地方における自然環境や歴史的景観の保全は，人口の増加や産業の発展のなかで，どのように取り組まれてきたのだろうか。	1	近畿地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	【知】 【思】 【態】	①近畿地方の自然環境や社会環境に着目して、近畿地方の地域的特色を整理している。 ②第３節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、近畿地方の地域的特色や近畿地方の課題、これからの近畿地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
第4節　中部地方 **■節の問い■**　中部地方における産業の発展に，自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。（6時間）			**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中部地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①さまざまな資料を活用して，中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。 ②中部地方の三つの地域において，さかんな産業に違いがある理由や，それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察している。 ③産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち，自然環境や人々の生活と関連させながら，主体的に追究している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
7	**1　中部地方の自然環境** 日本の中央部に位置する中部地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	1	中部地方を概観し，自然環境や人々の生活の特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①雨温図を活用して，東海，中央高地，北陸の気候の特色を適切に読み取り、中部地方の地形や気候の特色を理解している。 ②東海，中央高地，北陸の生活のようすを地形や気候の特色や違いと関連づけて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
7	**2　中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏** 名古屋を中心とする地域では，どのようにして自動車などの輸送機械工業が盛んになったのだろうか。	1	中京工業地帯や東海工業地域の特色をとらえ，輸送機械工業がさかんな理由を考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から中京工業地帯や東海工業地域の特色を適切に読み取り、中京工業地帯や東海工業地域の特色を理解している。 ②歴史的背景や大手企業の立地に着目しながら東海で輸送機械工業がさかんな理由を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
7	**3　東海で発達するさまざまな産業** 東海の産業は，自然環境や交通網などの条件を生かして，どのように発達してきたのだろうか。	1	都市向けの農業が発達した理由を考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から都市向けの農業が発達してきたことを適切に読み取り、抑制栽培や園芸農業について理解している。 ②気候や交通網の発達，大都市との位置関係などに着目しながら都市向けの農業が発達した理由を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
7	4　内陸にある中央高地の産業の移り変わり 内陸で山あいの環境にある中央高地では，時代の変化とともに，どのような産業が発展したのだろうか。	1	時代の変化とともに移り変わってきた中央高地の産業の実態をとらえる。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から中央高地の産業の変化を適切に読み取り、中央高地の産業の特色を理解している。 ②中央高地の産業の変化を，社会の変化や自然環境の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
7	**5　雪を生かした北陸の産業** 雪が多い北陸では，どのような産業が発達してきたのだろうか。	1	北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から北陸で稲作や地場産業がさかんな実態を適切に読み取り、豪雪と北陸の産業とのかかわりを理解している。 ②日本有数の豪雪地帯であるという特色に着目しながら，北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
7	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　中部地方における産業の発展に，自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。	1	中部地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	【知】 【思】 【態】	①中部地方の自然環境と産業の発達との関連に着目して、中部地方の地域的特色を整理している。 ②第４節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、中部地方の地域的特色や中部地方の課題、これからの中部地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
第5節　関東地方 **■節の問い■**　関東地方における人口の集中は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。 （7時間）			**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、関東地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。 ②関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追求しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**1　関東地方の自然環境** 関東地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	1	地図や景観写真、雨温図などを活用して関東地方を概観し，自然環境や人々の生活の基本的な特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①地図や景観写真、雨温図などを活用して、関東地方の地形や気候の特色を調べ、まとめている。 ②内陸と沿岸とに分けて異なる地形や気候の特色について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**2　多くの人々が集まる首都，東京** 首都であり，多くの人々が集まる東京には，どのような役割があるのだろうか。	1	さまざまな資料を活用して日本や世界における，東京の役割を考える。	【知】 【思】 【態】	①首都であり，多くの人が集まる東京の特色を調べ、まとめている。 ②昼夜間人口の違いに着目し、特に東京の中心部が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**3　東京大都市圏の過密問題とその対策** 拡大する東京大都市圏では，どのような課題が生じてきたのだろうか。	1	人口が集中することによって発展した産業の特色を考えるとともに、サービス業や商業がさかんな理由を，人口や交通網とのかかわりから考える。	【知】 【思】 【態】	①東京大都市圏の拡大の特色や課題を調べ、まとめている。 ②人口が集中することで発生した都市問題とその解決について多面的・多角的に考察し，表現している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**4　人口の集中と第3次産業の発展** 人口が集中する地域で発達する産業には，どのような特色があるのだろうか。	1	人口が集中することによって発展した産業の特色を考える。	【知】 【思】 【態】	①人口が集中することによって発展した産業の特色や課題を調べ、まとめている。 ②人口が集中する地域で第3次産業がさかんになる理由や課題の解決を多面的・多角的に考察し，表現している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**5　臨海部から内陸部へ移りゆく工場** 京浜工業地帯や北関東工業地域の形成は，関東地方の人口の変化とどのように関係しているのだろうか。	1	関東地方の工業の発展や移り変わりを，人口の特色に着目して考える。	【知】 【思】 【態】	①京浜工業地帯，京葉工業地域，北関東工業地域の特色を調べ、まとめている。 ②関東地方の工業の発展や移り変わりとその課題を人口の変化や市街地の拡大に着目しながら多面的・多角的に考察し，表現している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
9	**6　大都市周辺の農業と山間部の過疎問題** 東京大都市圏の周辺の農業地域や山間部は，人口の多い東京大都市圏と，どのように結びついているのだろうか。	1	大消費地と深く関連する関東地方の農業の特色や山間部での過疎問題について考える。	【知】 【思】 【態】	①近郊農業の発達や利点について調べ、まとめている。 ②UターンやIターンなどの近年みられる新しい動向に着目しながら、山間部で深刻化する過疎問題の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　関東地方における人口の集中は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	1	関東地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	【知】 【思】 【態】	①関東地方の自然環境や社会環境に着目して、関東地方の地域的特色を整理している。 ②第５節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、関東地方の地域的特色や関東地方の課題、これからの関東地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
第6節　東北地方 **■節の問い■**　東北地方における人々の生活や文化に，自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。 （6時間）			**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、東北地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や写真・雨温図などから，東北地方の自然環境の特色や，伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。 ②東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と，それにともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察している。 ③東北地方を伝統的な祭りや工芸品，町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**1　東北地方の自然環境** 南北に長い東北地方では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	1	東北地方を概観し，自然環境や人々の生活の特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①地図や雨温図から東北地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、東北地方の地形や気候の特色を理解している。 ②地形や気候などに着目し、東北地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**2　伝統行事と生活・文化の変化** 東北地方の伝統的な祭りや人々の生活は，どのように変化してきたのだろうか。	1	祭りをはじめとする東北地方の伝統文化を生かした観光業の発展とこれからを考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，農業と祭りや交通網と観光業とのかかわりを適切に読み取り、東北地方の祭りや観光業の特色について理解している。 ②観光業を活用した東北地方の発展や復興について多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**3　稲作と畑作に対する人々の工夫や努力** 東北地方の人々は，冷涼な気候の下で農業を発展させるために，どのような工夫や努力を行ってきたのだろうか。	1	冷夏などの厳しい自然環境を克服し発展させてきた東北地方の稲作や畑作の努力について考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，東北地方の農業の特色を適切に読み取り、東北地方の稲作や畑作の実態や工夫を理解している。 ②厳しい自然環境を克服し，発展させていくための努力を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**4　果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力** 東北地方で盛んに行われている果樹栽培や水産業には，どのような工夫や努力がみられるのだろうか。	1	果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，果樹栽培や漁業と人々の生活とのかかわりについて適切に読み取り、④東北地方での果樹栽培や漁業の特色について理解している。 ②果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
9	**5　工業の発展と人々の生活の変化** 東北地方の工業は，交通網の整備や人々の生活の変化とともに，どのように発展してきたのだろうか。	1	工業の発達がもたらした人々の生活の変化について考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料を関連付けて，交通網の発達と工業の発達との関連を適切に読み取り、工業の発達がもたらした人々の生活の変化について理解している。 ②工業の発達が東北地方の人々の生活をどのように変化させたかを多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
9	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　東北地方における人々の生活や文化に，自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。	1	東北地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	【知】 【思】 【態】	①東北地方の自然環境や社会環境に着目して、東北地方の地域的特色を整理している。 ②この節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、東北地方の地域的特色や東北地方の課題、これからの東北地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
第7節　北海道地方 **■節の問い■**　北海道地方の自然環境は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。 （6時間）			**＜この節のねらい＞** 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、北海道地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。		**＜この節の評価基準＞** ①地図や雨温図，統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について，自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。 ②産業や開発の歴史に関する特色あることがらに注目して，自然環境や外国とのかかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察している。 ③自然環境に注目した視点から，自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心をもち，北海道地方の特色を主体的に追究している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	**1　北海道地方の自然環境** 北海道では，地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	1	北海道地方を概観し，自然や人々の生活の特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	①地図や雨温図から北海道地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、北海道地方の地形や気候の特色を理解している。 ②自然環境に注目した視点から北海道地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	**2　雪と共にある北海道の人々の生活** 北海道の人々は，雪をどのように克服したり，利用したりしているのだろうか。	1	北海道の人々の雪と関わる取り組みや工夫を理解する。	【知】 【思】 【態】	①景観写真などから北海道地方の人々の雪との関わりを読み取り、雪に対する工夫や生かす試みなどについて理解している。 ②北海道地方における雪に対する課題の克服や雪の利用などについて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	**3　厳しい自然環境を克服してきた稲作** 温暖な気候の下で行われる米作りが，寒冷な北海道で盛んに行われているのはなぜだろうか。	1	厳しい寒さや農業に適さない土地という悪条件を乗り越えてきた稲作の歴史を考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，開拓によって農地を拡大してきた実態を読み取り、泥炭地の土地改良や稲の品種改良について理解している。 ②石狩平野が全国有数の米の生産地になった理由を，開拓の歴史に着目しながら多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	**4　自然の恵みを生かす畑作や酪農，漁業** 北海道で，畑作や酪農，漁業が盛んになったのはなぜだろうか。	1	大規模に展開する北海道の畑作や酪農，漁業の特色を考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，北海道の畑作や酪農，漁業が大規模であることを読み取り、北海道の畑作や酪農，漁業の特色を理解している。 ②畑作や酪農，漁業の規模が大きく変化した理由を，厳しい自然環境との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	**5　北国の自然を生かした観光業** 北海道では，観光業をどのように発展させてきたのだろうか。	1	北海道の豊かで特色ある自然環境を生かして発達した観光業の特色を考える。	【知】 【思】 【態】	①さまざまな資料から，北海道における観光業の発展と観光客の増加を読み取り、北国の自然を生かした観光業の特色を理解している。 ②観光客の増加に伴う自然破壊の対策とエコツーリズムについて多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	節の学習を振り返ろう **■節の問い■**　北海道地方の自然環境は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	1	北海道地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	【知】 【思】 【態】	①北海道地方の自然環境や社会環境に着目して、北海道地方の地域的特色を整理している。 ②第７節の問いを、単元の学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、北海道地方の地域的特色や北海道地方の課題、これからの北海道地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

第3部　身近な地域の調査

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
	第1章　身近な地域の調査 **■章の問い■**　身近な地域の様子を調べるには，どのような方法があるのだろうか。 （4時間）		**＜第3部第1章のねらい＞** 　場所などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解させる。 ①地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けさせる。 ②地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して，　適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		**＜第3部第1章の評価規準＞** ①観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方の基礎を理解している。 ①地形図や主題図の読図，目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 ②地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して，　適切な主題や調査，まとめとなるように，調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③地域調査の手法について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	**1　調査テーマを決めよう** 調査テーマは，どのように決めるとよいのだろうか。	1	地域に対する疑問を整理して，調査するテーマを設定し仮説を立てる。	【知】 【思】 【態】	①地図や景観写真，統計資料などを活用し，対象地域に関する疑問をとらえ、対象地域を調べる視点や調査テーマを決める手順を理解している。 ②対象地域に関する疑問や調査するテーマを多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	**2　調査方法を考えよう** 調査テーマを追究するためには，どのようなことを，どのように調べればよいのだろうか。	1	調査を進めるための調査項目や調査方法を考え、野外調査の準備をする。	【知】 【思】 【態】	①査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめる調査方法に活用できる適切な地図や景観写真，統計資料を収集し、調査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめる調査項目や調査方法について理解している。 ②調査テーマに対する予想やその予想が正しいかどうかを確かめる調査項目や調査方法を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	**3　野外調査を実行しよう** 野外観察や聞き取り調査は，どのように行うとよいのだろうか。	1	野外調査と聞き取り調査を実施する。	【知】 【思】 【態】	①調査した結果を適切に記録・活用し、聞き取り調査の方法を理解している。 ②より有効かつ効率的に野外調査が進むような工夫を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
10	**4　調査を深めて結果を発表しよう** 調査を深め，分析するには，どのような方法があるのだろうか。また，調査結果はどのようにまとめ，発表すればよいのだろうか。	1	調査した結果をまとめたり，資料を関連させたりして野外調査でわからなかったことを確かめ，地域の特色や課題をとらえる。	【知】 【思】 【態】	①文献などの調査結果から，地域の変容を適切に読み取り、調査のまとめから対象地域の特色や課題を理解している。 ①調査結果を適切にわかりやすくレポートなどにまとめ、よりよい調査結果のまとめ方を理解している。 ②文献資料などを活用して野外調査で見つかった発見や疑問を多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
第4部　地域の在り方							
	第1章　地域の在り方 **■章の問い■**　地域をよりよくするためには，どのようなことに取り組むとよいのだろうか。 （5時間）		**＜第4部第1章のねらい＞** 　空間的相互依存作用や地域などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①地域の実態や課題解決のための取組を理解させる。 ①地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解させる。 ②地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ③地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題		**＜第4部第1章の評価規準＞** ①地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ①地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解している。 ②地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**1　課題を把握しよう** 地域が抱えている課題は何だろうか。その課題を発見し，追究するテーマを設定しよう。	1	持続可能な地域の在り方を構想するために、地域の地理的な課題を把握し、その解決に向けた追究の問い（テーマ）を設定する。	【知】 【思】 【態】	②地域の在り方を考える際に追究する問いを，地理的な見方・考え方や注目する視点を生かしながら設定することができる。 ③地域の在り方について，課題を主体的に追究，解決するための見通しを持つことができている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**2　地域をとらえよう** 地域の実態を把握するためには，どのような手順で進めるとよいのだろうか。	1	追究のテーマに基づいた調査計画を立てるとともに、諸資料から地域の実態を把握する。	【知】 【思】 【態】	①課題解決に向けて計画を立てるとともに、地域の実態について諸資料からさまざまな情報を効果的に調べ，まとめる技能を身に付けている。 ③よりよい社会の実現を視野に、地域の特色や課題などの実態を把握しようと，主体的に資料を収集しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
11	**3　課題の要因を考察しよう** 地域が抱える課題の要因を考察するには，どのようなことに着目するとよいのだろうか。	1	調査結果を分析したり、他地域の状況と比較したりすることを通して、地域の課題の要因を考察する。	【知】 【思】 【態】	①地域の課題の要因を、他地域の状況などとも比較・関連付けながら理解している。 ②地域の課題の要因について，他地域の状況や地域内独自の要素に着目し，多面的・多角的に考察している。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**4　課題の解決に向けて構想しよう** 課題の解決に向けて構想するには，どのような点に気をつけるとよいのだろうか。	1	地域の課題を解決するために必要な取り組みを考え、よりよい地域の在り方を主体的に考察・構想したり、議論したりする。	【知】 【思】 【態】	①地域の課題を解決するために必要で、持続可能性のある取り組みは何か、他地域の事例と比較・関連付けたり、すでに行われている取組を参考に整理したり、議論を通したりして見出している。 ②地域の課題を解決するために必要な取り組みを多面的・多角的に考察するとともに、よりよい地域の在り方を主体的に考察・構想し、表現している。 ③持続可能な社会をめざす一員であるという自覚をもち、持続可能な地域の在り方を主体的に追究・解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**5　課題の成果を発信しよう** 構想した成果を分かりやすく伝えるためには，どのようにするとよいのだろうか。	1	構想の成果を分かりやすく説得力ある伝え方でまとめ、発表会や提言などの形で発信する。	【知】 【思】 【態】	①発表会での他の生徒の発表などを通して、地域の実態における他のさまざまな側面や、それに対する課題解決のための取組を理解している。 ①発表会で他の生徒の発表からよりよい発信の方法を読み取るとともに、プレゼンテーションソフトを活用した発表の仕方などについても理解している。 ③「地域の在り方」の学習について、粘り強く考察・構想したり、学習の見通しを基に、自ら工夫・調整しながら主体的に学習に取り組むことができたかを振り返っている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

【歴史的分野】
第4章　近世の日本

導入の活動（98～99） 近世の人々の様子をとらえよう。			年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ・ これから学習する時代に関する写真や年表，絵画などの資料を見て，近世のイメージを持ったり，前の時代との違いを予想したりする。	【知】 【思】 【態】	・ 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表） ・ 近世がどのように安定したかという探究課題に対して，学習の見通しをもとうとしている。（態度）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 **（11時間）**			・ ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎が作られたことを理解させる。 ・ 交易の広がりとその影響に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・ ヨーロッパ人との出会いと全国統一について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付けさせる。	【知】 【思】 【態】	○ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎が作られたことを理解している。 ○交易の広がりとその影響に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・ ヨーロッパ人との出会いと全国統一について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**1 中世ヨーロッパとイスラム世界**（p.100～101） 中世のヨーロッパ イスラム世界の拡大 十字軍	1	・ 古代のローマ帝国と比較して，ローマ帝国の分裂とそれに伴うキリスト教会の分裂を理解する。 ・ 資料から，イスラム世界の広がりと文化の先進性を理解する。 ・ 十字軍の動きを通して，イスラム文化がヨーロッパに伝わったことを理解する。	【知】 【思】 【態】	中世のヨーロッパ世界と同時期のイスラムの世界の成立と両者の関係を理解している。（知技）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**2 ルネサンスと宗教改革** （p.102～103） ルネサンス 宗教改革 近世への移り変わり	1	・ ルネサンスと宗教改革を通して，ヨーロッパ世界の変化の様子を理解する。	【知】 【思】 【態】	・ ルネサンスと宗教改革がヨーロッパ世界に及ぼした変化を理解している。（知技）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**3 ヨーロッパ世界の拡大** （p.104～105） 大航海時代 アメリカ大陸の植民地化 オランダの台頭	1	・ 主にアジアとイスラム商人との関係から，ヨーロッパ人が海外に進出した理由を考える。 ・ アメリカ大陸とアフリカ大陸の様子から，ヨーロッパの世界進出の影響を理解する。	【知】 【思】 【態】	・ ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸に及ぼした影響を理解している。（知技） ・ ヨーロッパ人がアジアを目指した理由を多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**4 ヨーロッパ人との出会い** （p.106～107） 鉄砲の伝来 キリスト教の伝来と広まり 南蛮貿易とキリシタン大名	1	・ 掲載資料から，ヨーロッパ人が日本にもたらしたものを読み取る。 ・ 掲載資料から，鉄砲とキリスト教が日本の社会に広まった様子を捉える。	【知】 【思】 【態】	・ ヨーロッパの様々な文物やキリスト教が，日本社会に広まっていく様子を理解している。（知技） ・ ヨーロッパの文化が日本へ広まっていくことを理解している。（知技）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
11	**5 織田信長・豊臣秀吉による統一事業** （p.108～109） 織田信長の統一事業 豊臣秀吉の全国統一 宣教師の追放	1	・ 織田信長と豊臣秀吉によって全国が統一されたことを理解する。 ・ 織田信長の政策から，商工業が発達した理由を考える。 ●バテレン追放令から，豊臣秀吉のキリスト教対策を理解する。	【知】 【思】 【態】	・ 織田信長と豊臣秀吉による統一事業の過程を理解している。（知技） ・ 豊臣秀吉がキリスト教の信仰自体は禁止せず，また，貿易を続けていたことを理解している。（知技） ・ 織田信長の政策が商業を発達させたことを多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**6 兵農分離と秀吉の対外政策** （p.110～111） 太閤検地と刀狩 朝鮮侵略	1	・ 太閤検地と刀狩によって，社会がどのように変化したのかを考える。 ・ 朝鮮侵略のあらましと，その後の日本に与えた影響を理解する。	【知】 【思】 【態】	・ 朝鮮侵略の過程とその影響を資料から読み取っている。（知技） ・ 兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したのかを，中世の社会と比較して多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
11	**7 桃山文化**（p.112～113） 天下統一と豪壮な文化 芸能と生活文化の展開 南蛮文化 探究のステップ	1	・ 桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し，その特色が生まれた理由を考える。 ・ ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子とその影響を理解する。	【知】 【思】 【態】	・ ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解している。（知技） ・ 桃山文化の特色を，生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力，中世の文化の継承などの視点から多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表） 〇戦乱の世が終わった理由を理解している。（知技） 〇なぜ戦乱の世が終わったのかについて，ヨーロッパ人との出会いとその影響を関連付けて考察し，表現している。（思判表） ・ ヨーロッパ人との出会いと全国統一について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。（態度）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
☆2節　江戸幕府の成立と対外政策			・ 江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。 ・ 統一政権の諸政策の目的に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・ 江戸幕府の成立と対外政策について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付けさせる。	【知】 【思】 【態】	〇江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 〇統一政権の諸政策の目的に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・ 江戸幕府の成立と対外政策について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**1 江戸幕府の成立と支配の仕組み** （p.114～115） 江戸幕府の成立 幕藩体制の確立 大名・朝廷の統制	1	・ 約260年続く平和な時代が生まれた理由を考える。 ・ 江戸時代の政治制度のあらましと，幕府による大名や朝廷の統制について，大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。	【知】 【思】 【態】	・ 「主な大名の配置」から大名統制の方法を読み取るなど，歴史地図を活用している。（知技）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**2 さまざまな身分と暮らし** （p.116～117） 武士と町人 村と百姓 差別された人々	1	・ 江戸時代の身分制度と武士，百姓，町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ・ 百姓や町人とは別に，差別された身分の人々がいたことの意味について考える。	【知】 【思】 【態】	・ 「身分別の人口の割合」「都市と農村の支配の仕組み」などから，江戸時代の身分とそれぞれの職分や自治の様子を理解している。（知技）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**3 貿易の振興から鎖国へ** （p.118～119） 積極的な貿易政策 禁教と貿易統制の強化 島原・天草一揆と鎖国	1	・ 江戸幕府の対外政策の変化について年表などから調べ，貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考える。 ・ 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と，その影響を理解する。	【知】 【思】 【態】	・ 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と，それが人々の生活に与えた影響を理解している。（知技） ・ 江戸幕府が17世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を，宗教の統制，外交と貿易の統制，大名の統制などから多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**4 鎖国下の対外関係** （p.120～121） 四つの窓口 オランダ・中国との貿易 朝鮮との交際	1	・ 長崎でのオランダ・中国との貿易について理解する。 ・ 朝鮮との交際について理解する。	【知】 【思】 【態】	・ オランダ・中国とは正式な国交はなかったが，長崎において貿易が行われていたことを理解している。（知技） ・ 朝鮮とは正式な国交があり，通信使の派遣や倭館での貿易などが行われていたことを理解している。（知技）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
	5 琉球王国やアイヌ民族との関係 （p.122～123） 琉球の支配 アイヌ民族との交易 探究のステップ		・ 琉球との関係について理解する。 ・ アイヌの人々との関係を理解する。	【知】 【思】 【態】	・ 琉球が薩摩藩に支配されるとともに，中国と朝貢貿易を行っていたことを理解している。（知技） ・ アイヌの人々の生活や松前藩との交易の様子について理解している。（知技） 〇江戸時代が約260年続いた理由を理解している。（知技） 〇江戸時代が約260年続いた理由を，幕府の諸政策の目的と関連付けて考察し，表現している。（思判表） ・ 江戸幕府の成立と対外政策について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。（態度）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
	3節 産業の発達と幕府政治の動き（7時間）		・ 産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを基に，町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。 ・ 社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを基に，幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解させる。 ・ 産業の発達と文化の担い手の変化，社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・ 近世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・ 産業の発達と幕府政治の動きについて，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付けさせる。	【知】 【思】 【態】	知識・技能 ＊ 〇産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを基に，町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 〇社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを基に，幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解している。 思考・判断・表現 〇産業の発達と文化の担い手の変化，社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 〇近世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・ 産業の発達と幕府政治の動きについて，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**1 農業や諸産業の発達** （p.124～125） 農業の発展 諸産業の発展	1	・ 各地に特産物が見られるようになった理由を多面的・多角的に考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 各地に特産物がみられるようになった理由を農業や諸産業の発展と関連付けて，多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**2 都市の繁栄と交通路の整備** （p.126～127） 三都の繁栄 街道の整備 海運の発達	1	・ 交通路が整備され，三都をはじめとする都市が発展したことを理解する。 ・ 江戸時代に交通や都市が発達した理由を，幕府や藩の政治の仕組み，物資の流通などから多面的・多角的に考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 産業や交通の発達によって貨幣経済が進展し，財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。（知技） ・ 江戸時代に交通や都市が発達した理由を，幕府や藩の政治の仕組み，物資の流通などから多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**3 幕府政治の安定と元禄文化** （p.128～129） 綱吉の政治と正徳の治 元禄文化	1	・ 徳川綱吉の政治の特色を理解する。 ・ 文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解する。	【知】 【思】 【態】	・ 徳川綱吉の政治が，それまでの武断政治から文治政治へと転換したことを理解している。（知技） ・ 元禄文化が上方の町人を中心とする文化であることを理解している。（知技）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**4 享保の改革と社会の変化** （p.130～131） 享保の改革 産業の変化と工業の発達 農村の変化と百姓一揆	1	・ 徳川吉宗の改革の様子を理解する。 ・ 幕藩体制の基盤がゆらぎ，百姓一揆が起きたことを理解する。 ・ 社会の変化と百姓一揆・打ちこわしの発生件数との関係を多面的・多角的に考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 徳川吉宗の改革について調べ，そのあらましを理解している。（知技） ・ 社会の変化と百姓一揆・打ちこわしの発生件数との関係を多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**5 田沼意次の政治と寛政の改革**（p.132～133） 田沼意次の時代 寛政の改革 ロシアの接近	1	・ 田沼意次と松平定信の政治について，その背景を踏まえて，政治の特色を考察し，表現する。 ・ ロシアの接近に対する幕府の外交政策を，間宮林蔵らの北方探検を通して理解する。	【知】 【思】 【態】	・ 蝦夷地や樺太などの北方探検が，ロシアの南下に対するものであったことを理解している。（知技） ・ 田沼意次と松平定信の政治について，その背景を踏まえて財政政策の違いなどを多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**6 新しい学問と化政文化** （p.134～135） 国学と蘭学 化政文化 教育の広がり	1	・ 国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ，社会の動きとの関連を考察し，表現する。 ・ 寺子屋や藩校が各地に設けられたことを通して，教育への関心が高まってきたことを理解する。	【知】 【思】 【態】	・ 化政文化が江戸の町人を中心とする文化であることを理解している。（知技） ・ 「藩校と寺子屋の広がり」を基に全国に教育施設がつくられていったことを理解している。（知技） ・ 国学と蘭学が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
12	**7 外国船の出現と天保の改革** （p.136～137） 異国船打払令と大塩の乱 天保の改革 雄藩の成長 探究のステップ	1	・ 外国船の接近とそれに対する幕府の対応について理解する。 ・ 大塩の乱，天保の改革について調べ，幕府政治にどのような変化が見られたのかを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 外国船の接近とそれに対する幕府の対応についてまとめ，幕府に新たな課題が生じたことを理解している。（知技） ・ 大塩平八郎が乱を起こした理由や，天保の改革の内容を調べ，幕府政治が行き詰まっていったことについて多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表） 〇幕府が改革を迫られた背景を理解している。（知技） 〇幕府が改革を迫られた背景を，社会の変化と関連付けて考察し，表現している。（思判表） ・ 産業の発達と幕府政治の動きについて，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。（態度）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
第5章　開国と近代日本の歩み							
	■導入の活動（p.148～149） 近代化とはどのようなことか考えよう		・ 政治や社会の変化の資料から，小学校で学習した内容を振り返る。 ・ 近代に関する資料から，この時代に起こった社会の変化や近代化のイメージを持つ。	【知】 【思】 【態】	・ 資料の読み解きや比較から，この時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表） ・ 近代化によって，日本の国家や社会はどのように変化したかという探究課題に対して，見通しをもって学習に取り組もうとしている。（態度）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
1節 欧米における近代化の進展（5時間）			・ 欧米諸国における産業革命や市民革命，アジア諸国の動きなどを基に，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ・ 工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きを多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・ 欧米における近代化の進展について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	【知】 【思】 【態】	知識・技能 〇欧米諸国における産業革命や市民革命，アジア諸国の動きなどを基に，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 思考・判断・表現 〇工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きを多面的・多角的に考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・ 欧米における近代化の進展について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
1	**1 イギリスとアメリカの革命** （p.150～151） 近世ヨーロッパの動向 イギリス革命 アメリカの独立革命	1	・ イギリスとアメリカの政治体制の変化を，きっかけになった出来事に着目して理解する。 ・ イギリスとアメリカで近代民主政治への動きが生まれたことに気付き，現代の政治とのつながりを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ イギリスとアメリカが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。（知技） ・ イギリスとアメリカの政治の変化と現代の政治へのつながりを考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
1	**2 フランス革命** （p.152～153） フランス革命の始まり ナポレオンの時代	1	・ フランスの政治体制の変化を，きっかけになった出来事に着目して理解する。 ・ フランスで近代民主政治への動きが生まれたことに気付き，現代の政治とのつながりを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ フランスが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。（知技） ・ フランスの政治の変化と現代の政治へのつながりを考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
1	**3 ヨーロッパにおける国民意識の高まり** （p.154～155） 「国民」の登場 ヨーロッパと中南米諸国の動向	1	・ １９世紀のヨーロッパと中南米諸国の動向を理解する。 ・ 徴兵制や義務教育，政治参加を通じて，国民としての一体感が高まったことを理解する。	【知】 【思】 【態】	・ ヨーロッパで国民国家が形成されていく過程と中南米諸国の独立を理解している。（知技） ・ フランス革命の影響とヨーロッパにおける国民意識の高まりを考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
1	**4 ロシアの拡大とアメリカの発展** （p.156～157） ロシアの拡大 アメリカ合衆国の発展 南北戦争	1	・ ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し，発展していく過程を理解する。 ・ ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で，さまざまな問題を抱えていたことを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し，発展していく過程を理解している。（知技） ・ アメリカ合衆国の発展の一方で，先住民の強制移住や黒人への人種差別などの問題があったことを考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
1	**5 産業革命と資本主義** （p.158～159） 産業革命 社会主義の広がり 探究のステップ 資本主義の発展と社会問題	1	・ イギリスから産業革命と資本主義社会が広がっていく過程を理解する。 ・ 産業革命を経て，経済の仕組みが大きく変化し，労働問題や社会問題が発生したことを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 産業革命による変化の様子と資本主義社会の成立が，ヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解している。（知技） ・ 産業革命が欧米諸国に与えた影響を考察し，表現している。（思判表） 〇欧米諸国が世界に先駆けて発展し た理由を理解している。（知技） 〇欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を，市民革命や産業革命と関連付けて考察し，表現している。（思判表） ・ 欧米における近代化の進展について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。（態度）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
2節 欧米の進出と日本の開国（4時間）			・ 開国とその影響などを基に，幕府が対外政策を転換したことと，それが国内の大きな変化につながったことを理解させる。 ・ 欧米の進出と開国などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，日本における開国とその影響を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・ 開国とその影響について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	【知】 【思】 【態】	知識・技能 〇開国とその影響などを基に，幕府が対外政策を転換したことと，それが国内の大きな変化につながったことを理解している。思考・判断・表現 〇欧米諸国のアジア進出の理由や背景などに着目し，開国の影響とその後の幕府政治の動向などを考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・ 開国とその影響について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
1	**1 欧米のアジア侵略** （p.160～161） 欧米とアジアの力関係 アヘン戦争と中国の半植民地化 インドと東南アジアの植民地	1	・ イギリスを中心とする欧米諸国が，工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出した過程を理解する。 ・ 欧米諸国のアジア進出とそれに対するアジア諸国の動きを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ イギリスのアジア進出に対するアヘン戦争やインドの大反乱を理解している。（知技） ・ 欧米諸国のアジア進出の理由と背景や，アジア諸国の対応と変化を考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
1	**2 開国と不平等条約** （p.162～163） ペリーの来航 不平等な通商条約	1	・ ペリー来航に対して，幕府が対外政策を転換し，開国したことを理解する。 ・ ペリー来航から日米修好通商条約の締結までの過程，不平等な内容について考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 日本の開国のきっかけや日米修好通商条約の内容や不平等な点を理解している。（知技） ・ 江戸幕府が開国した理由や欧米諸国と結んだ外交関係を考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
2	**3 開国後の政治と経済** （p.164～165） 幕府への批判の高まり 開港の経済的影響	1	・ 幕府への批判の高まり，貿易開始による物価の上昇を理解する。 ・ 開国によって，日本の政治や経済はどのように変化したのかを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 尊王攘夷運動や桜田門外の変，開国後の貿易の様子を理解している。（知技） ・ 開国による政治的及び社会的な影響を，人々の生活との関わりから考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
2	**4 江戸幕府の滅亡** （p.166～167） 薩摩藩と長州藩の動き 世直しへの期待 大政奉還と王政復古 探究のステップ	1	・ 倒幕への動きや幕府の対応，外国の動きから，江戸幕府の滅亡までの経緯を理解する。 ・ 開国による政治的及び社会的な影響が，明治維新への動きを生み出したことを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 大政奉還が行われ，江戸幕府が滅ぶまでに起こった主な出来事を理解している。（知技） ・ 薩摩藩や長州藩，会津藩の動きと幕府政治の推移，開国による人々の生活の変化を考察し，表現している。（思判表） 〇江戸幕府が滅んだ理由を理解している。（知技） 〇江戸幕府が滅んだ理由を，欧米諸国の進出や開国，その後の幕府の対応と関連付けて考察し，表現している。（思判表） ・ 欧米とアジアとの関係が変化する中，江戸幕府がほろんだ理由を振り返り，考えようとしている。（態度）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
◎3節 明治維新 **（7時間）**			・ 富国強兵・殖産興業政策，文明開化の風潮などを基に，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・ 自由民権運動，大日本帝国憲法の制定などを基に，立憲制の国家が成立して，日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 ・ 明治維新の諸改革の目的，議会政治や外交の展開などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，明治維新と近代国家の形成，議会政治の始まりと国際社会との関わりについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・ 明治維新と近代国家の形成，議会政治の始まりと国際社会との関わりについて，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	【知】 【思】 【態】	知識・技能 ＊ 〇富国強兵・殖産興業政策，文明開化の風潮などを基に，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解している。 思考・判断・表現 〇明治維新の諸改革の目的，議会政治や外交の展開などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，明治維新と近代国家の形成，議会政治の始まりと国際社会との関わりについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・ 明治維新と近代国家の形成，議会政治の始まりと国際社会との関わりについて，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
2	**1 新政府の成立** （p.168～169） 明治維新 藩から県へ 身分制度の廃止	1	・ 新政府の方針や諸改革の内容，中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 ・ 明治維新による社会の変化，特に身分制度の廃止の意義と問題点について考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 新政府が成立し，近代国家の基礎が整えられていったことを理解している。（知技） ・ 明治維新によって，幕藩体制や身分制度はどのように変化したのかを考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
2	**2 明治維新の三大改革** （p.170～171） 三大改革 学制の公布 徴兵令 地租改正	1	・ 新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ・ 明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 学制・兵制・税制の改革の内容を理解している。（知技） ・ 新政府が行った学制・兵制・税制の改革を，江戸時代の制度と比較しながら考察し，表現している。 （思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
2	**3 富国強兵と文明開化** （p.172～173） 富国強兵 殖産興業政策 文明開化 新しい思想	1	・ 新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ・ 文明開化の風潮について，社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを考察し表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 近代的な産業発展のために政府が進めた富国強兵・殖産興業政策の内容を理解している。（知技） ・ 文明開化の風潮について，社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを，江戸時代と比較しながら考察し，表現している。 （思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
2	**4 近代的な国際関係** （p.176～177） ぶつかる二つの国際関係 岩倉使節団 清や朝鮮との関係	1	・ 近代的な国際関係の下で進められた，明治初期の外交政策を理解する。 ・ 岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響，明治初期の外交政策について考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 新政府が行った岩倉使節団の派遣や，清や朝鮮への外交政策を理解している。（知技） ・ 新政府が行った外交政策について，欧米諸国やアジア諸国の視点から考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
3	**5 国境と領土の確定** （p.178～179） 南北の国境の確定 北海道の開拓とアイヌの人々 沖縄県の設置と琉球の人々	1	・ 領土の確定について，近代的な国際関係の下で，新政府が行った外交政策を理解する。 ・ 北海道の開拓と産業の関係，沖縄県成立の過程での中国との関係について考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 国境と領土の確定について，北海道や沖縄などに対して新政府が行った政策を理解している。（知技） ・ 蝦夷地と琉球王国が日本に組み込まれる過程について考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
	6 領土をめぐる問題の背景 （p.180～181） 歴史的に見る島々の領有 あしか猟の舞台・竹島 日本人の生活の舞台・北方領土 かつお節製造の舞台・尖閣諸島	1	・ 竹島，北方領土，尖閣諸島が日本固有の領土になった時期や経緯と，日本政府の見解を理解する。 ・ 竹島，北方領土，尖閣諸島について，固有の領土として生活の舞台となった背景を考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 竹島，北方領土，尖閣諸島の領有の歴史的な経緯と日本政府の見解を理解している。（知技） ・ これらの島の領有に関する各国の歴史解釈の違いを踏まえ，固有の領土と考えられる背景を考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】

月	単　元　名	時数	目　標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
3	**7 自由民権運動の高まり** (p.182～183) 自由民権運動と士族の反乱 高まる自由民権運動 国会の開設をめぐる対立	1	・ 自由民権運動が始まった経緯や，改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。 ・ 憲法草案などの資料から，自由民権運動がどのような社会の実現を求めていたのかを考察し，表現している。	【知】 【思】 【態】	・ 自由民権運動のおこりや政党の結成，激化事件に至る過程を理解している。（知技） ・ 自由民権運動から憲法制定に至るまでの時期について，民権側と政府側の立場からそれぞれの主張を考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
3	**8 立憲制国家の成立** (p.184～185) 憲法の準備 憲法の発布 帝国議会の開設 探究のステップ	1	・ 政府が主導した憲法の制定過程，大日本帝国憲法の内容の特徴を理解する。 ・ 議会政治が始まったことの歴史的意義や，現代の政治とのつながりを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 憲法の制定過程とその内容の特徴，選挙制度などを理解している。（知技） ・ 大日本帝国憲法の制定過程とその内容の特徴を踏まえ，その特色は現代につながっているか考察し，表現している。（思判表） 〇日本が明治維新を通じて近代化したことを理解している。（知技） 〇日本がほかのアジア諸国に先がけて近代化に成功した理由を，欧米諸国との関係と関連付けて考察し，表現している。（思判表） ・ 日本が他のアジア諸国に先駆けて近代化が進んだ理由を振り返り，考えようとしている。（態度）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
◎4節 日清・日露戦争と近代産業 **（6時間）**			・ 日清・日露戦争，条約改正などを基に，我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。 ・ 我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる。 ・ 外交の展開，近代化がもたらした文化への影響などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，国際社会との関わり，近代産業の発展と近代文化の形成について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・ 日清・日露戦争と近代産業について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。	【知】 【思】 【態】	知識・技能 〇日清・日露戦争，条約改正などを基に，我が国の国際的地位が向上したことを理解している。 〇我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解している。 思考・判断・表現 〇外交の展開，近代化がもたらした文化への影響などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，国際社会との関わり，近代産業の発展と近代文化の形成について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・ 日清・日露戦争と近代産業について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
3	**1 欧米列強の侵略と条約改正** (p.186～187) 列強と帝国主義 条約改正の実現 東アジアの情勢	1	・ 欧米諸国の植民地獲得競争，日清戦争に至るまでの背景としての東アジアの情勢を理解する。 ・ 条約改正に至るまでの過程や，欧米諸国と対等な外交関係が結ばれるまでにどのような動きがあったのか考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 欧米諸国の植民地獲得競争，日清戦争に至るまでの背景としての東アジアの情勢を理解している。（知技） ・ 条約改正について背景を踏まえて，長年にわたる課題として取り組まれたことを考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
3	**2 日清戦争** （p.188～189） 日清戦争 三国干渉と加速する中国侵略 日清戦争後の日本	1	・ 日清戦争に至るまでの動き，戦争のあらましと国内外の対応を理解する。 ・ 下関条約の内容に関心を持ち，戦後のアジアの国際関係や国内情勢について考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 日清戦争に至るまでの動き，戦争のあらましと国内外の対応を理解している。（知技） ・ 日清戦争の日本や清への影響を考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
3	**3 日露戦争** （p.190～191） 義和団事件 日露戦争 日露戦争後の日本と国際社会	1	・ ロシアやイギリスの動向と日本との関係に着目し，日露戦争に至るまでの動き，戦争のあらましと国内外の対応を理解する。 ・ 日露戦争について，戦争の規模や国内外の反応を様々な視点から考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 日露戦争に至るまでの動き，戦争のあらましと国内外の対応を理解している。（知技） ・ 日露戦争の日本や世界への影響について日清戦争と比較しながら考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
3	**4 韓国と中国** （p.192～193） 韓国の植民地化 満鉄の設立 中華民国の成立	1	・ 韓国の植民地化と中華民国が建国されるまでの過程を理解する。 ・ 韓国の植民地化への民衆の抵抗，中国国内の民族的自覚の高まりについて考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 韓国の植民地化と中華民国が建国されるまでの過程を理解している。（知技） ・ 韓国や中国の国内での動き，政治の変化について考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
3	**5 産業革命の進展** (p.194～195) 産業と資本主義の発展 社会問題の発生 地主と小作人	1	・ 明治時代の産業と資本主義の発展を理解する。 ・ 産業革命によって，都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 近代産業が発展して資本主義の基礎が固まったことを理解している。（知技） ・ 産業と資本主義の発展によって，日本で発生した社会問題を考察し，表現している。（思判表）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】
3	**6 近代文化の形成** (p.196～197) 日本の美と欧米の美 新しい文章 学校教育の普及 探究のステップ	1	・ 近代文化の形成を，学問や科学の分野で国際的な業績が生まれたことや教育の普及から理解する。 ・ 明治時代の文化は，どのような特色を持っていたのかを考察し，表現する。	【知】 【思】 【態】	・ 近代文化が形成されたことを，学問・教育・科学・芸術の発展を通して理解している。（知技） ・ 近代文化は，伝統的な文化の上に欧米文化を受容して形成されたことを考察し，表現している。（思判表） 〇日本が中国やロシアと戦争をすることになった理由を理解している。（知技） 〇日本が中国やロシアと戦争をすることになった理由を，欧米諸国のアジア進出と関連付けて考察し，表現している。（思判表） ・ 日清・日露戦争と近代産業について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。（態度）	ワークシート 観察 テスト	【表】 【主】